

2017年度 大学院入学試験問題【I期】

国際日本学研究科 国際日本学専攻 (博士前期課程)

科目：専門科目 【ポップカルチャー研究領域】

注意) 解答用紙は、指定された用紙を使用しなさい。その際、問題番号を必ず明記すること。

(例 I-(1), II-(2))

I. 論述問題

次の2題のうち1題を選択して、論述しなさい。(字数の制限はありません。)

- (1) 日本ではプロのマンガ家になるルートとして、マンガ家のアシスタントになって修練を積んだり、出版社主催の新人向けコンクールに応募したりといった方法が挙げられてきた。他方、近年は同人市場で得た技術や人気を元手に商業誌へと移行する、「同人出身」のマンガ家の割合が増えている。この変化が日本のマンガの産業や表現内容などにもたらしている変化について、具体例を挙げながら、多角的に論じなさい。
- (2) 日本のアニメには、個々に特徴付けられた多数の美少女キャラクターが登場することを魅力の柱とするような作品が、とりわけ2000年代以降、多く見受けられる。同様に、多数の男性キャラクターを並べ、女性の視聴者に人気を博した作品も、少なくない。他国のアニメーションにはあまり見られないこれらの傾向について、日本のアニメ史の流れと絡めつつ、具体的な作品を挙げながら、多角的に論じなさい。

II. 解説問題

次の(1)～(4)の中から2つを選んで、解説しなさい。(字数の制限はありません。)

- (1) 赤塚不二夫
- (2) 押井守
- (3) PlayStation (初代、およびそれ以降のゲーム機のシリーズ)
- (4) スポ根